

1 経済・経営

第1-22表 時間当たり労働生産性上昇率

Table 1-22: Labour productivity (GDP per hour worked), annual growth rates

		(%)							
		2000年	2005	2010	2012	2013	2014	2015	2016
日本	JPN	2.9	1.5	3.3	0.9	2.1	0.0	1.5	* 0.4
アメリカ	USA	2.8	2.0	2.8	0.2	0.2	0.6	0.7	0.2
カナダ	CAN	3.0	2.4	1.1	-0.1	1.4	2.5	-0.2	0.6
イギリス	UK	3.3	0.9	2.1	-0.5	0.3	0.3	1.7	-0.4
ドイツ	DEU	2.5	1.5	2.5	0.6	0.8	0.8	0.7	1.3
フランス	FRA	2.6	0.8	1.4	0.2	1.3	0.8	0.8	1.0
イタリア	ITA	2.8	0.6	2.2	-0.3	0.9	0.2	0.3	-0.7
オランダ	NLD	3.3	2.5	2.1	-0.2	0.7	0.7	1.7	0.2
ベルギー	BEL	0.8	1.1	2.2	-0.2	0.7	1.1	1.2	0.1
デンマーク	DNK	2.3	1.4	3.9	1.9	0.8	1.4	0.5	0.5
スウェーデン	SWE	3.6	2.6	3.3	-0.1	0.9	1.1	3.0	0.5
フィンランド	FIN	4.3	1.8	3.3	-1.6	0.6	0.0	0.1	1.6
ノルウェー	NOR	3.9	1.0	0.6	0.8	0.7	0.6	1.4	0.3
ロシア	RUS	5.5	5.2	3.7	2.5	2.1	0.3	-3.5	-0.1
スペイン	ESP	0.5	0.4	2.3	2.0	1.4	0.3	0.4	0.6
韓国	KOR	3.8	4.3	5.6	1.6	1.7	2.4	1.1	2.3
オーストラリア	AUS	1.0	0.4	1.6	2.5	1.7	0.7	2.7	* 0.7
ニュージーランド	NZL	3.0	-0.1	-1.0	3.6	-1.9	-0.8	1.7	* -0.2

*…推計値/Estimated value

資料出所 OECD Database (<http://stats.oecd.org/>) 2018年2月現在

(注) OECD Databaseでは、労働生産性を就業1時間当たりの国内総生産(GDP)と定義している。就業1時間当たりGDPは、GDP総額を就業者の年間総労働時間で除した数値である。本表は、就業1時間当たりGDPの対前年上昇率をあらわしている。